

しあわせ

2022

8

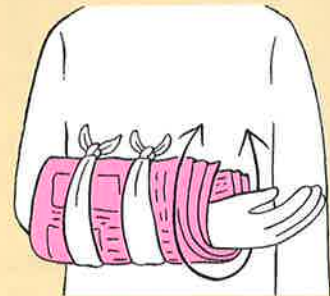
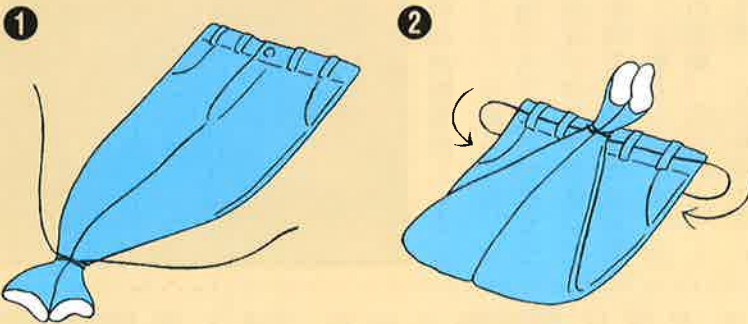
AUGUST

編集・発行 一宮町社会福祉協議会

発行回数 年3回

長ズボンでリュックサック

新聞紙で



骨折時のそえ木にする
新聞紙を重ねて板のようにして、骨折した骨の両側の関節まで覆うように当てて使います。



服に入れて断熱材にする
寒いときは、下着と上着の間に新聞紙を入れると、空気の層ができて暖かくなります。

身近な物を利用して～東京防災より

**今仕様！災害が起きた時
大切な人を守るために…**

SNSを使って社協として 地域福祉活動に活かしたい

令和4年7月7日・8日の2日にわたり、第58回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会が開催されました。

この協議会は、関東ブロック（関東甲信越静）の11都県が輪番で当番を担うこととしており、令和4年度の第58回大会は千葉県が当番県として、ホテルグリーントワー幕張で行われました。

千葉社協職員連絡協議会主催の第58回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会に参加しました。

当日は関東ブロックの11都県から391名の参加があり、普段できない他県の社協職員とも交流を深めることができました。

協議会の内容としては1日目に基調講演があり、その後6つの分科会に分かれて講演・事例発表・グループワークを行いました。私は第6分科会の『社協の魅力を生かしてSNSで発信！災害時の発信にも役に立つ日頃のSNS活用術』に参加しました。株式会社サイボウズ、柴田哲史氏より広報の意義、代表的なSNSの特徴、SNSを活かす方法の講演がありました。その後富津市社協と八千代市社協から事例発表がありました。グループワーク

では、実際にフェイスブックを使って、仮想事業の広報活動を行いました。一宮町社協でも今後活用したいと思います。

2日目は記念講演と分科会報告が行われました。2日間を通して社協だからできること、社協にしかできないことを見つめなおし、これからの地域福祉活動に活かしたいと思います。

森 友季菜



つくも会

みんなが楽しめる憩いの場、
うらやましいなく

さる6月29日に「いすみ市岬ふれあい会館」において『なのはなシニア千葉特選演芸会』が開催されました。コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの、会場も従来までの「長生村文化会館」から変わっての開催となりました。

会場に集まった各老人クラブの会員は、久しぶりのはつらつとしたちびっ子の演技に魅了され、コロナ騒ぎで溜まっていたウツプンを少しでも晴らすことにお役に立てたことと思います、と同時に会場設備の

します。

一宮町つくも会会長 齋藤 繁美



すばらしさにビックリした所存でありま

す。近隣の他市町村には住民が憩いの場所として楽しめる、様々な施設が設備されていることにより、やましく思うことは私一人ではなかったものと思います。これからの高齢化社会を見据えた町行政の手腕を期待



日本赤十字奉仕団主催の「令和4年度赤十字奉仕団東南ブロック赤十字のつどい」が、芝山文化センターに於いて令和4年6月14日に開催されました。赤十字奉仕団支部指導講師高柳善江氏を迎え、「防災・減災について」をテーマとした講話を頂きました。また、実技実践講習として「三角巾を用いた自分手当法」を学びました。参加者は約150名でした。

日本赤十字社千葉県支部主催の千葉県赤十字奉仕団指導技術等研修会が、千葉県赤十字会館にて福祉の学習に協力するための、指導技術を習得することを目的に開催されました。

日赤 忘れていた三角巾のやり方 奉仕団 いつでもできるよこに

令和4年6月14日1時半から芝山文化センターにおいて赤十字のつどいが行われました。コロナの影響により、白子町で行われた東南ブロックのつどいから3年ぶりの実施でした。

赤十字奉仕団員信条唱和、あこがれの赤字斉唱、ブロック長挨拶、来賓挨拶の後、日赤千葉県支部指導講師高柳善江先生による講義「防災・減災について」災害に備えるために、災害から命を守る基盤について講義を聞きました。津波の警報によって実際に避難した方の体験談は自分の防災について考えさせられるお話でした。

次に「三角巾を用いた自分手当法」の実技講習が行われました。大腿、下腿、膝、足首の4か所の止血や固定についてのやり方を教わりました。



壇上だけでなく指導者の方が近くにきて、三角巾のやり方を丁寧に何度も実践して見せてくださり、すっかり忘れていた私には身になった講習会でした。

いつでもできるように日頃から練習をしておかなければと反省した会になりました。

片岡 智子



赤十字教本より

日赤 奉仕活動のあり方 奉仕団 気づき・考え・行動する

6月28日、日赤千葉県支部において、3年ぶりに開催された研修会に参加しました。

コロナ禍の中、感染予防を徹底しながら行う奉仕活動のあり方を検討する、と目的にあつた通り、本研修会も体調チェックに始まり、会場の換気、間隔、実技を行う際の消毒など万全の体制でした。

研修内容は三点。炊き出し（ハイゼックス）の作り方の基本、学校・幼稚園等における防災教育の指導について、車いす操作高齢者体験の基本、の三点でした。



釜を組み立てる際の注意点や、米と水を入れる際の空気の抜き方のコツなどを教えていただきました。また高齢者体験

や車いす乗車体験により、ほんの少しの段差や、普段は何気なく行う行動が、たいへん困難な事だと改めて実感しました。学校等での防災教育のお手伝いについては、資料や用具等、支部にも揃っているとのことなので、もう少し積極的に発信していけるのではないかと思います。

とても暑い日差しの中の研修会でしたが、「気づき・考え・行動する」という日赤の精神を教えてください、有意義な研修会でした。



河野 裕子

地域に密着した活動を

4月1日より事務局長に就任しました森田と申します。一宮町社会福祉協議会の円滑な運営と地域福祉の充実に向け努力していく所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、国内でも新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない状況です。まだまだ予断をゆるさない状況であることから、引き続き感染対策に取り組みながら、一日も早く感染が収束し、コロナ禍前と同様に、皆さまと共に地域福祉活動や交流ができるようになることを切に願っております。

これからも職員一丸となって、地域の皆さんと共に地域に密着した活動を展開してまいりますので、ご協力ご支援をお願い申し上げます。

森田 正己



上段左から吉野、長谷川、森、鶴岡
下段左から峰島、森田

第9回

一宮町社会福祉大会

第6回

一宮町ボランティア福祉フェスティバル

を開催します。

開催日 令和4年10月16日(日)

場所 一宮町保健センター前駐車場

なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて検討して参ります。

令和4年度

結婚50周年記念贈呈について

対象者

昭和47年9月1日～昭和48年8月31日までに結婚された方

申込み先

一宮町社会福祉協議会に申込用紙をご用意いたします。

印鑑をご持参の上お越し下さい。

※一宮町に本籍がない方は、本籍地の戸籍謄本が必要です。

締切日

令和4年9月16日(金)

お問い合わせ

電話 (42)3424 一宮町社会福祉協議会



編集後記

観測史上、最も早く梅雨が明けた今年、猛暑を通り越して酷暑が早くも、6月にして始まった。紫陽花も戸感っているかの様に感じました。又、マスク生活にすっかり慣れたこの頃、エネルギーや物価の値上りも気になる所ですが、厳しい夏に向けて、健康に充分注意しましょう。

渡邊 年子

ふれあい昼食会のお知らせです

例年10月に町内に住む75歳以上のおひとり暮らしの皆さまをお招きして、ボランティアによる食事と演芸を楽しんでいただくことを目的として開催しておりましたふれあい昼食会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年と同様お弁当を配付する形での訪問を予定しています。

対象となる皆様には、改めてお知らせいたします。

令和3年度社会福祉協議会会計決算

(単位:円)

収 入		支 出	
会費収入	1,777,100	人件費支出	60,565,549
寄付金収入	102,580	事業費支出	34,088,962
経常経費補助金収入	22,173,877	事務費支出	5,369,756
受託金収入	36,700,771	貸付事業支出	250,000
貸付事業収入	235,000	助成金支出	1,000,000
事業収入	55,600	負担金支出	60,400
介護保険事業収入	28,331,980	共同募金配分金事業費	1,278,997
障害福祉サービス等事業収入	6,834,030	固定資産取得支出	1,054,870
受取利息配当金収入	1,697	積立資産支出	548,750
その他の収入	1,503,576	その他の活動による支出	1,997,510
積立資産取崩収入	2,038,250	予備費	0
その他の活動による収入	5,498,190	当期末支払資金残高(次年度繰越金)	26,032,622
前期末支払資金残高(繰越金)	26,994,765		
合 計	132,247,416	合 計	132,247,416

令和4年度社会福祉協議会会計予算

(単位:円)

収 入		支 出	
会費収入	1,835,000	人件費支出	53,508,000
寄付金収入	133,000	事業費支出	35,111,000
経常経費補助金収入	25,489,000	事務費支出	6,035,000
受託金収入	37,224,000	貸付事業支出	250,000
貸付事業収入	250,000	助成金支出	1,725,000
事業収入	45,000	負担金支出	61,000
介護保険事業収入	25,866,000	積立資産支出	676,000
障害福祉サービス等事業収入	7,137,000	その他の活動による支出	1,991,000
受取利息配当金収入	10,000	予備費	942,000
その他の収入	225,000	当期末支払資金残高(次年度繰越金)	0
前期末支払資金残高(繰越金)	2,085,000		
合 計	100,299,000	合 計	100,299,000